



# ヨシイちゃんのひとりごと

## ロスで退院患者を搬送放置

人間はゴミではない！

私の国民(小学)学校五年生の頃、住んでいる日吉町の『路地』を女性のおお食さんが夜だけ幼子と『寝る場所』にしていた。(おお食さんはホームレスか路上生活者と言わないといけ

ないかも知れないが許して貰おう)日中は何処かへ行き夜には戻る。大人しい人で近くに住む人たちも追いつくようなことはしなかった。いつの間にか私たちの間では「おたまちゃん」の名前で呼ぶようになっていた。もう食料品は全て配給制、キップがないと何も買えない時代。キップが有っても「品物が無い」時をどうして生きていたのだろう。可哀想だと町内の人が「なけなしの食料」を上げていたようだ。ふた月ほどで何処かへ消えた。噂では「赤ちゃん」が出来たから男の人が引き取ったとのこと。若者、中年まで兵隊で居らず、配給は僅かの



食糧しかない時代なのに当時の日本には「おたまちゃん」にまで食べ物を分け与える人情があった。今は物は満ち足りて

いる。それなのに餓死する人、わが子を飢死さす親までいる。ホームレスの青いテントが空き地や橋下を占領している。不気味な殺人、簡単に人を殺すやからが増えた。日本だけではない。アメリカでは教室の黒板前に学童を並べ銃で「処刑」した事件があった。今朝、新聞(10/27読売)で



「米・ロスアンゼルス市内の病院が、退院患者をホームレスの集中する地区に搬送し、そのまま置き去りにしている実態が同市警の調査で明らかになった。メデイアは「人間をまるでゴミのように扱っている」と批判」の記事が出ていた。世界一強力な軍隊・世界経済の支配者・民主主義の本国の国での出来事である。我が大日本帝国は、61年前そのアメリカに戦で敗れ、以後アメリカの民主主義と経済の仕組みをモデル、教科書にして殆ど批判することなくマネをして今日に至っている。教科書は『何時も正しい』と限らない、アメリカモデルも絶対でない」と

定教科書を戦後「黒く塗り潰した」経験のある「ヨシイちゃん」はヒトリゴトで言いたい。

## 松本蒼平写真展

京・うれづれに寄せて

酒谷 佳子

私の父、松本蒼平が夫の仕事先である集西楽で、八十歳を記念して写真展を開くことになりました。父が写真を撮り始めた



松本蒼平氏 八十歳

のは昭和30年代の初め頃、知人から譲り受けたメグロという大きなオートバイに乗り、ライカを持って、ほとんど自動車も走っていない京都をあちこち写して回っていたそうです。私が高校生の頃、真冬に撮影に行く父についていったことがあります。まだ真つ暗なうちに、暖房のない車にオーパーを着込んで乗り、寝ぼけ眼で着いたのが滋賀県堅田の浮御堂。白々と明けてくる日の出を待って、なかなかシャッターを切らない父

「米・ロスアンゼルス市内の病院が、退院患者をホームレスの集中する地区に搬送し、そのまま置き去りにしている実態が同市警の調査で明らかになった。メデイアは「人間をまるでゴミのように扱っている」と批判」の記事が出ていた。世界一強力な軍隊・世界経済の支配者・民主主義の本国の国での出来事である。我が大日本帝国は、61年前そのアメリカに戦で敗れ、以後アメリカの民主主義と経済の仕組みをモデル、教科書にして殆ど批判することなくマネをして今日に至っている。教科書は『何時も正しい』と限らない、アメリカモデルも絶対でない」と定教科書を戦後「黒く塗り潰した」経験のある「ヨシイちゃん」はヒトリゴトで言いたい。

## 本年9月ビール出荷量 過去最大の落ち込み

ビール類出荷4・7%減、飲酒運転取り締まり強化で？

ヒール大手5社(キリン、アサヒ、サッポロ、サントリー、オリオン)が12日発表

した9月のビール類飲料の総出荷量は、前年同月比4・7%減の4096万ケース(1ケース=大瓶20本換算)となり、2か月ぶりのマイナスとなった。ビールは前年同月比8・5%減、発泡



に、私は寒さで震えながら早く終わらな

いかなあと待っていたもので

す。写真には夜明けや日没の光の具合が一番美しいと

父はそれから琵琶湖や余呉湖にしばしば撮影に出かけていき

ました。水にうつるう波や光、雪景色などの写真を集め、万葉集ゆかりの地をめぐった「近江路の万葉展」を開催したのが25年前。それから趣味のヨットをハワイ沖で写した「ケンウツドカップ・ヨットレース」などの写真展などを経て、現在は「ファイブド・アイ」という、京都で写真を趣味にしている各

酒は7・8%減となる一方、第0・8%増加した。このうち、ビールの出荷量は、9月単月としては、1992年に統計を取り始めて以降の過去最低となった。業務用が7・0%減と大きく落ち込んだのが響いた。天候不順のほか、8月下旬、飲酒運転で幼児3人が死亡した事故が福岡市で起きたことをきっかけに、飲酒運転の取り締まり強化の動きが広がった影響もあるとみられる。

(読売新聞) 10月12日

ケメコ通信より転記

界の方たちとの会に結成時から参加し、年に一度文化博物館で展覧会を開いています。

年齢と共に重いカメラをかついで歩き回ることが億劫になり、今回の写真展は小型のカメラで京都の町を散策し、撮影したものです。80年暮らした父にも私たちにもなじみの深い場所ばかりですが、ただの観光写真では物足りないかと、神社仏閣の光と影の美しさを捕えた写真を多く選びました。父が撮影に出かけている間、俳句をたしなんでいた母も、写真展に合わせて2冊目の句集を発行し、会場に展示しております。紅葉の美しい季節、散策のついでにもつ一つの京都にもどうぞお立ち寄り下さい。



寄稿・投稿

この欄は皆様のスペースです。ご投稿寄稿をお待ちしています。匿名でも可

11月9日(11日開催)無料  
ウオールドルフ人形展&  
早川嘉美スケッチ画展  
作者からのコメント

おにんぎょう

ウオールドルフ(だいたすき展)

作者、早川加代子のコメント  
スウェーデンひつじの詩舎講師/田中カタルチャー講師・ウオールドルフ人形に出会って18年。神の啓示に出会ったような衝撃を受けたことを思い出します。以来、慈しみ、ありがとう、愛おしさの気持ちを大切にしながら制作を続けてきました。



ウオールドルフ人形は、子供のアナタジーやほんものに触れ合うこと、温かさを特に大切に作る抱

き人形です。

おさなごがしゃぶつたり、乱暴に扱っても大丈夫なように工夫がこらされています。

2年に1度の作品展も4回目になりました。皆さんのお目にとまり、少しでも温かいなにかが伝われば、なによりうれしく思います。

今回は、各教室で一緒に

方々の作品を含め、やく40点くらいを並べる予定です。会場では、あそびコーナー(ドールハウスとおにんぎょう使用)や簡単なワークショップコーナーも準備しています。



お人形と作者早川加代子様  
スケッチ画作者早川嘉美様

税理士のかたわら、

「思いの心は人生を創る」を  
テーマに講演活動を少々  
早川嘉美 JICAカタルチャー

自己開発講師。

・ひよんなことから絵筆を持つようになって5年。師と仰ぐ方から、「お不動さん(不動明王)を描きなさい」といわれたことに遡るわけですが、描くまでには10年を経っていました。いつの間にか、孫の絵や交友にたいている方のお孫さんが中心になり、いまでは妻の創るウオールドルフ人形の愛おしさにも絵筆が動き出します。  
妻が丹精こめて創る人形を私が描く。熟年離婚、定年離婚、ぬれ落ち葉族が深刻に語られる時

代、これも楽しいではありませんか。

テーマは常に、あたたかさ、愛おしさ、えがおとしています。喜びと楽しい波動が広がればうれいなくと思います。

今回は、ウオールドルフ人形、お不動さん、幼児たちを中心に40点を展示します。

貞教国民学校・

昭和21年卒業生が

卒業の還暦・向窓会開催

去る10月16日(月)に「集西楽サカタ」の2階ギャラリーカフェ集と楽々ホールで、卒業から六十年、卒業の還暦と名付けた同窓会が開かれた。

昭和15年貞教尋常小学校入学、17年から国民学校という戦時体制名に代わった貞教校、敗戦で僅か5年で国民学校は小学校と名になったが、生徒たちは戦争最中に国民学校に在学し卒業した。

空襲警報が発令されれば帰宅、体操の時間は、剣道や『手旗信号』を習い、給食は『豆粕ご飯』と味噌汁と漬物。だが、食前に軍人勅諭を大声で読んしか食べる事を禁じられた。通常の授業は減り、食料難から、畠の開墾、芋や力ボチャを作りが増えた。更に六年生になると集団疎開等でチリジリになった。共に入学しても卒業は疎開地で

した学友も少なくない。そんな戦中、停電、食料難、インフレの戦後から生きて卒業から六十年、卒業の還暦と名付けた同窓会である。



会は開会に先だち、貞教小学校の最後の校長、下倉幸子先生ののご祝辞やご参加下さった女子組担任櫻井麗子先生のお言葉に続き、卒業時在籍された平山幸三郎先生、大石完次先生、竹内英野先生のご消息の報告、故人になられた男子組担任森本先生や同級生に黙祷を捧げた。

ギャラリーカフェ集での会食前、櫻井先生に出席簿で参加者の名前を呼ばれ「ハイ」と起立したので、60前に戻った気分

で食時中の歓談は盛り上がった。食後場所を奥の楽々ホールに移し、ご参加の櫻井麗子先生が「還暦のお祝い」と「平城山・この道・祈り」の三曲をピアノ伴奏で独唱下さった。83歳とは見えない若々しいお姿から更にお若いソプラノの美声に同窓生達の拍手喝采が響いた。続いてピアノ伴奏で懐かしい唱歌を全員で歌い、遠方から来た友、卒業以来始めて参加した友たちと延々語り歌い、5時間以上の同窓会は終わった。



上の写真は、6年女子組担任櫻井麗子先生の独唱  
Cは唱歌の後の懇談が弾む会場

移し、ご参加の櫻井麗子先生が「還暦のお祝い」と「平城山・この道・祈り」の三曲をピアノ伴奏で独唱下さった。83歳とは見えない若々しいお姿から更にお若いソプラノの美声に同窓生達の拍手喝采が響いた。続いてピアノ伴奏で懐かしい唱歌を全員で歌い、遠方から来た友、卒業以来始めて参加した友たちと延々語り歌い、5時間以上の同窓会は終わった。



C

2F/奥は貸しホール・楽々ホール  
ピアノ舞台・椅子テーブル有  
お問合せ561-7974 酒谷宗男



2階ギャラリーカフェ集  
ファミレス併設  
大型テレビ設置  
コピー機等 2000円  
ソフトクリーム 180円

# 酒屋で生きて 生かされて

## 第十話 酒谷本店危機・世の中は甘くない。

前号で整理の事を書きましたが、再出発できるまでの期間にいろいろを経験しました。ある晩、祖父の代からお取引のあった京都駅八条口のT酒店のお婆さんが見えて、父に「一郎は少ないがこれ使って」と新聞包みを渡されました。中身は10万円入っていたのです。

又、父が兵隊時代お付合し商売でもお取引のあった伏見のKT酒店のご主人も「頑張れ金なら応援しよう」と言いつて下さいました。同席していた私は涙が出るほど嬉しく思いました。どちらのご好意を謝してご支援は辞退させてもらいました。

反対に落ち目になると「この人」の言葉かと疑う程厳しく冷たい言葉も聞こえてきます。極親しい人の手の平を返したような仕打ちも「身から出た錆び」と堪えました。「金の切れ目は縁の切れ目」は男女間の諺だけでなく「金が無いのは首の無いに等しい」は本当だと知り以後の人生に貴重な教訓になりました。

社員数人でスタートした(株)酒谷本店に社員として参加、昼間は酒小売店に注文取りの仕事に



酒谷義郎 21才・事務所にて

従事、夜は別の活動を続ける日々が地元の東山区に左京伏見の酒屋さんを受け持



前掛けが制服、自転車で見は大手筋までの酒小売店訪問し取引をお願い

します。店を整理で閉めていた9ヶ月の

### 美しい国より美しい町

「たきもの、あげます」

先日、西陣のまちを自転車で走っていて 町家の作業所の入り口に置いてある手書きのポスターを見つけた。 「たきもの」言葉で言えば「たきもん」これ、なんだと思いませんか？「たきもの」には二つの意味がありますね。



炊かれるもの」と、「自ら炊きつけるもの」の二つ意味です。一瞬、だいたいこのタイ

間に他の酒卸店と取引された店も多く、特に東山区は地元であり個人時代のお取引先も多かった。週に一度は必ず訪問と力を入れセールスに廻りました。だが遣込み事件の影響と一度整理したことで信用が落ち、取引は再開は出来ません。自業自得とは言え悔しい気持ちになりました。

セールスと言っても商売の経験は無いに等しい状態です。酒屋さんに懸命にお願いしても、ご注文は簡単に頂けません。後から老舗酒問屋A商店の番頭さんが来て「サッサと先に注文を

タンがもらえるのかと思いましたが下の置かれていて、ふた締め

の薪をみると炊きつけたと分かります。思わず自転車を止めて店内に声をかけます。 お店は木工の作業所で切り取った端材があるのでこうしてまとめて道を通るひとに上げていると仰る。

「たきもの、あげます」マジックインクで書かれた文字声にだして言ってみる。 「たきもん、あげます」

心の中にポツと暖かいものがつく。なんだかとても昔のすっかり忘れていたことを思い出させてくれるようです。 「そんなあ、写真なんか撮らん

貰って「義郎はんお先にゴメンな。まあオキバリやす」と激励とも冷やかしたとれる声をかけて帰っていきます。

「くそ！クヤシー」と思っても弱冠21歳の新米セールス、簡単にご注文はいただけず我慢ガマンの日が随分続きました。自らの力が無いと相手にされないと同時に「店の力」の強弱も大きく影響する現実がわかりました。酒問屋の仕事には従事していましたが、跡継ぎをするつもりはなく、いざれ離れるつもり、夜は別人のような活動していた青春時代でした。

と持つて帰らないあ 「おおきに、おおきに。そ

やけど今時こんな、たきもんで火い点けたはるとこ、あるんかいなあ」 「はっはっは。そやなあ、どうしたはるんやろうなあ」

こんなやさしさが今も残っている西陣のまちです。 決して「美しいまち」ではありません。

「美しい人」だけが住んでいるまちではありません。 「やさしさが漂うまち」に「やさしいひと」が住んでるまちです。 この文は、ケメコ通信プログラム(澤田好宏さん発信)から転載したものです。

### サカタニ友の会員を増やしたい!

サカタニ友の会は左のサービスしています。 知人・ご友人・ご近所の方に参加をお勧めください。 年会費12000円ですがご損はさせません。

**会員様サービス**  
入会更新時と年度内 2回・500円引券を進呈 毎月500円引券を進呈

※サカタニご使用可。 楽サカタニご使用可。 会員様価格での商品配達、 試飲会、蔵見学、朝粥会の会員割引有り。

2階の「集西楽サカタニ」でお買物は1000円で1ポイント、配達分は200円で1ポイント進呈。 300ポイントで3000円のサービス券発行。 登録会員はポイント加算も自動的ポイント加算も自動的に、情報紙「とんからりん」や案内をお届け 年やご同業の方、当社の都合で入会を断る 場合も有。

### 第9回・楽々落語会

11月2日(木) 開場午後6時半・開演7時

動物園 桂 二乗  
田楽喰い 桂 米二  
桃太郎 桂 あさ吉  
質屋蔵 桂 米二  
三味線・朝野美希

木戸銭当日1800円  
予約・前売1500円

第23回 朝粥を食べておしゃべり会

11月19日(日) 第3日曜  
午前9時~11時  
お話し・松原あけ美さん  
モンゴル焼みかんせ旅行記

必ずご予約して下さい  
参加費・一般3000円  
会員様2000円